

福島大学

東北地区国立大学法人等オープンセミナー





説明内容

1. 福島大学の概要
2. 事務組織と業務内容
3. 理念・将来構想、取り組み
4. 求める職員像
5. 勤務条件・福利厚生

福島大学の概要



基本情報

【設立】

昭和24年5月

(平成16年4月～国立大学法人へ)

【教職員数】 ※令和7年5月1日現在の常勤教職員

573名

(うち事務系職員 177名)

【学生数】 ※令和7年5月1日現在

- ・学類生、大学院生 4,534名
- ・児童、生徒、園児 1,143名



組織

□ 教育上の組織（3学群5学類、4研究科）

人文社会学群：人間発達文化学類・行政政策学類・経済経営学類

理工学群：共生システム理工学類

農学群：食農学類

地域デザイン科学研究科、教職実践研究科、
共生システム理工学研究科、食農科学研究科

□ 研究上の組織（8学系）

教育学系、地域文化・言語学系、健康・運動・心理学系、
法・行政・社会学系、経済・経営学系、自然科学・情報学系、
応用理工学系、生物・農学系

□ その他組織

附属図書館、2機構、8センター、3研究所、農場、附属4校舎、
事務局



事務組織と業務内容



事務組織と業務内容

福島大学では、教育研究組織の再編や地域課題などに対応するため、事務機構改革をその都度行っています。令和7年度に事務組織再編を行いました。

業務は、主に総務系、財務系、教務・学生系、研究協力系、学術情報系、施設系に分かれています。行事・イベントなど、全学で連携・協力して行う業務もあります。



課・室等

総務課－広報・渉外室

人事課

会計課

施設課

事務局
教務課

学生支援課－キャリア支援室

入試課

研究振興課－事業推進室

社会共創課

学術情報課

学長室

監査室

人間発達文化学類支援室

附属学校園支援室

行政政策学類支援室

経済経営学類支援室

共生システム理工学類支援室

食農学類支援室

環境放射能研究所

理念・将来構想、取り組み





福島大学

— 激変の時代に、柔軟に、かつ強靱に
大学づくりをすすめるために —

グランドデザイン
2040



変化の時代に、進化で挑む。

Fukushima Dynamism

福島大学



福島大学グランドデザイン2040の要点

GRAND DESIGN
2040

VUCA時代に直面する多様な課題の中、福島大学は法人化や震災を経て得た知見を活かしつつ、人口減少への対応などといった新たな課題に挑んでいます。

大学として対応すべき課題

- ◆ 国立大学法人としての機能強化・発展
- ◆ 少子化問題への対応

- ◆ 財政基盤の強化
- ◆ 社会における諸問題を解決・緩和できる人材育成

ミッション（使命）

- 新たな社会のあり方を提案できる大学
- 個人のWell-being、社会のWell-beingの実現を目指す大学
- 激変の時代に「柔軟に、かつ強靱に」取り組む大学

ビジョン（目標）

- 「正解のない問い」にチャレンジできるイノベーション人材の育成
- 地域と世界における現代的で複雑な課題解決のための研究強化

バリュー（行動指針）

教育

- 問題解決型教育の推進
- 異分野融合を促進する教育組織の再編
- 教育の質保証徹底と学修者中心のカリキュラム構築

研究

- 異分野間の共同研究を推進
- 人文社会系との融合を期待した理・工・農学系の研究強化
- 環境放射能研究所、発酵醸造研究所、水素エネルギー総合研究所等の研究を進化・発展

地域社会との連携

- 地方国立大学の社会貢献の在り方を再構築・強化
- 研究者が問題解決に関わる地域貢献の実践研究を設計
- 将来の地域の姿や課題を明確化し、逆算して課題を提起

教員養成・附属学校園改革

- 震災・原発事故復興と少子化に対応した教員養成の福島モデルを構築
- 少子化を考慮した附属学校園の抜本的改革を実施

地域に即したグローバル教育を全学で推進

- Fukushima Ambassadors Programを発展させ、地域に即したグローバル教育を全学で推進
- 留学生増加、語学力向上、海外インターンシップ活性化
- 海外との共同研究数の増加

大学改革

ミッション、ビジョン実現へ向け、 新たな教育研究組織を構築

- 教育と研究を一体的に行う新たな学士・修士・博士課程へ改組
- 学長のリーダーシップで意思決定を効率化するためのガバナンス体制の見直し・整備
- 持続可能な大学を目指す財政改革
- 組織と研究分野の再構築で本学の強みを強化
- 県内外の高等教育機関と連携を強化し、機能の共有を実質化

福島大学グランドデザイン2040の本文はこちら ▶



「福島大学グランドデザイン2040」は、未来の福島大学の設計図です。

福島大学は、一人ひとりのWell-beingと、社会のWell-beingを実現する「新しい社会のあり方」を提案できる大学を目指します。そして、時代の変化に強く、柔軟に対応できる大学に進化します。

「正解のない問い」に挑む力を育てる！

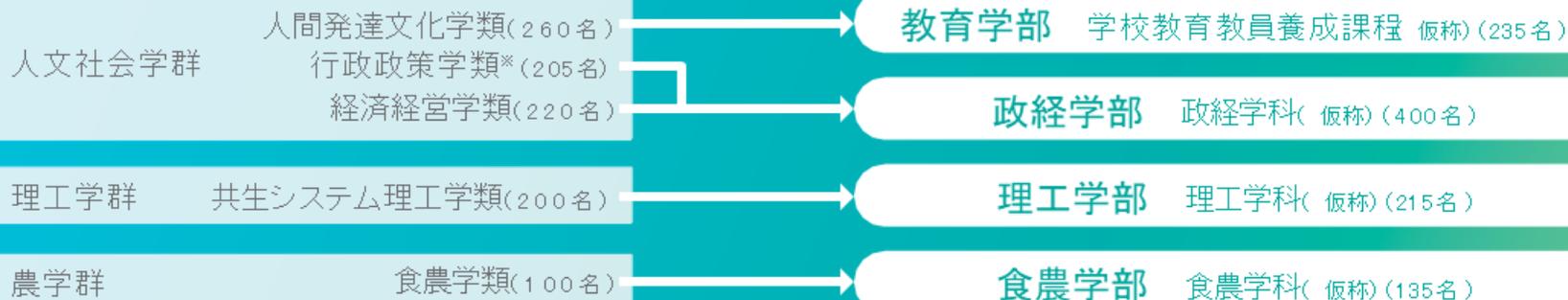
これからの社会は、教科書に載っていない問題ばかり。福島大学では、実際の地域の課題に向き合いながら、自分で考え、仲間と協力して答えを探す力を育てます。

地域と世界をつなぐ研究を強化！

東日本大震災以降、福島大学は多くの研究プロジェクトを生み出してきました。これからは、人文社会科学、環境やエネルギー、食と農など、最先端の分野を横断した研究を通じて、社会を変えていきます。



令和9(2027)年度 3学群5学類から 4学部に変わります。



※夜間主は廃止されます。

学部名や開設時期はいずれも予定であり、変更が生じる可能性があります。

「正解のない問い」に挑む、これからの学びへ — 学士課程再編

新しい福島大学で身につけてもらいたい力

- ①「専門性と社会への応用力」 ②「課題の自分事化と解決への意欲」 ③「分野を超える知識と新たな発見」 ④「協働する力と遂行する力」 ⑤「積極的な働きかけと倫理」

“先生”になるだけじゃない“学び”を創る人になる。

新しい社会づくりの担い手
地域に根ざしたイノベーション人材

地域の未来をひらく「科学と技術」を身につける。

教育学部 (仮称)

進化3

地域の子どもたちとリアルな関わり、探究する力を持った「学びのリーダー」を育てます。ともに学びを創る力を身につけます。

- 1 1年次には教員免許等に沿った〈系〉で学びます！
●言語系 ●英語系 ●社会科系 ●算数・数学系 ●保健体育系 ●心理系
- 2 以下のような教員免許を取得できます！
●小学校1種免許(2種) (取得必須)
●中学校(国語・英語・社会・数学・理科・保健体育)1種免許(2種)
●特別支援学校1種
●高等学校(国語・英語・地理歴史・公民・数学・理科・保健体育・体育)1種免許(2種) (取得必須)
- 3 2年次より課題別コースに分かれてプロジェクト学習を進めます！

※その他、ご関心領域別履修履修単位取得

理工学部 (仮称)

進化5

地域のインフラや災害対策、再生可能エネルギーやAI活用、地域の課題の中から技術革新を生み出す「実践型エンジニア」を育てます。

- 1 入学試験は学部一括で行い、2年次からは4つの専門コースに分れて深く学びます！
- 2 1年次では、数学・物理学・化学・生物学・地球科学、プログラミング等の理工学の基礎を学びます！
- 3 廃炉や除染技術、再生可能エネルギーなどをテーマに多彩なフィールドワークで実践的に学ぶことができます！

基盤教育 × 専門教育 × 共創知教育*

確かな知識、最先端の技術

政経学部 (仮称)

進化4

ビジネス戦略、公共政策、地域経済、国際問題—身近なニュースの「その先」を深く考え、現場で学ぶフィールドワークを通して、社会にイノベーションをもたらす人材を育成します。

- 1 地域の様々な資源を有効に活用して、地域を活性化するための仕組みやサービスを実現できる力を身につけます！
- 2 新しく生み出される技術を多様な形で事業に活用し、企業や地域経済を元気にすることができる力を身につけます！
- 3 専門知識をベースに、連携する企業や自治体等をフィールドとして、基礎・応用・実践の3段階で社会実効力を蓄えます！

食農学部 (仮称)

進化6

持続可能な食のシステム、地域で生産される農作物、食と農を入り口に、よりよい人々の暮らしや社会の仕組みを考えます。

- 1 農業の現場での実習や、福島県全体をキャンパスにして実践的に学びます！
- 2 分野を横断したチームで、地域の食と農の課題に幅広く取り組みます！
- 3 1年次から「土」や「水」に触れ、農場で現場実習に取り組みます！

「社会実装力」を身につけ、地域や産業の未来を創る。

「土」や「水」から「食卓」・「社会」まで、未来の食と農をひらく。

政経学部 (仮称)

進化4

ビジネス戦略、公共政策、地域経済、国際問題—身近なニュースの「その先」を深く考え、現場で学ぶフィールドワークを通して、社会にイノベーションをもたらす人材を育成します。

- 1 地域の様々な資源を有効に活用して、地域を活性化するための仕組みやサービスを実現できる力を身につけます！
- 2 新しく生み出される技術を多様な形で事業に活用し、企業や地域経済を元気にすることができる力を身につけます！
- 3 専門知識をベースに、連携する企業や自治体等をフィールドとして、基礎・応用・実践の3段階で社会実効力を蓄えます！

食農学部 (仮称)

進化6

持続可能な食のシステム、地域で生産される農作物、食と農を入り口に、よりよい人々の暮らしや社会の仕組みを考えます。

- 1 農業の現場での実習や、福島県全体をキャンパスにして実践的に学びます！
- 2 分野を横断したチームで、地域の食と農の課題に幅広く取り組みます！
- 3 1年次から「土」や「水」に触れ、農場で現場実習に取り組みます！

VUCAの時代

予測不能で、不確実で、複雑で、曖昧な社会

自分らの力で地域課題を解決、近未来を切り拓くための
地域×データ実践教育推進室

学生の留学実装、海外留学支援のための国際
国際交流センター

学校現場と多様な子どもたちを支援する
学校臨床支援センター

地域と連携、一緒に地域の未来を創る
地域未来デザインセンター

学生の就職支援、人材の発掘を実現する
キャリアセンター

ハイテクと水素社会のシステムを
水素エネルギー総合研究所

環境放射能研究センター
環境放射能研究所

発酵の研究を通して食品の価値を高める
発酵醸造研究所

多様な学生の生活サポートする
アクシビリティ支援室

学生の健康を守り、健康な生活をサポートする
保健管理センター

福島大学では、学部教育以外にも様々な教育プログラムを全学生に提供しています。被災地へのフィールドワークとデータサイエンスを組み合わせたプログラムや、Fukushimaの本当の姿を体験しに来る留学生との交流、商品開発や農業の六次産業化をめざすプログラムなど多彩に富んでおり、地域からも高い評価を得ています。

*共創知教育
学部・コースの専門領域を越え、「+α」の新たな専門性を身につけ、より実践的で、より現実に根ざした学修を目的とした教育です。協働プロジェクトに発展させることもできます。

進化7
福島大学では、地域社会の未来に必要な最先端の研究をしています。それらの研究は、教育に還元され、地域社会に実装されることにより、国立大学としての使命を果たすことになります。最近では、水素エネルギー総合研究所が設置され、地域の資源を生かしたエネルギーシステムの研究が始まっています。

研究力を向上させ、地域とともに未来を創る

※本資料に記載の学士課程改組の構想は、今後、文部科学省等関係省と調整の上、令和8年度に文部科学省大学設置・学校法人審議会の審査を受ける予定です。なお、構想は審査結果によって確定するものであり、変更の可能性あります。

取り組み



- 福島大学では、地域社会の未来に必要な最先端の研究をしています。それらの研究は、教育に還元され、地域社会に実装されることにより、国立大学としての使命を果たすこととなります。最近では、水素エネルギー総合研究所が設置され、地域の資源を生かしたエネルギーシステムの研究が始まっています。
- 福島大学では、学部教育以外にも様々な教育プログラムを全学生に提供しています。被災地へのフィールドワークとデータサイエンスを組み合わせたプログラムや、**Fukushima**の本当の姿を体験しに来る留学生との交流、商品開発や農業の六次産業化をめざすプログラムなど多彩に富んでおり、地域からも高い評価を得ています。



求める職員像



求める職員像

1

将来を見通した広い視野と明確な根拠を持って企画立案する職員

2

常に問題意識を持ち、自ら考え、主体的に課題に取り組む職員

3

経営意識(コスト意識)を持ち、効率的かつ効果的に業務を遂行する職員

4

業務に必要な情報の収集、知識の習得を積極的に行う職員

5

組織内のコミュニケーションをとり、良好な関係を構築する職員



《教育重視の人材育成大学》

福島大学職員はこのような
職員を目指しています。

All For Students
～共に成長する職員～

一歩先をみよう！

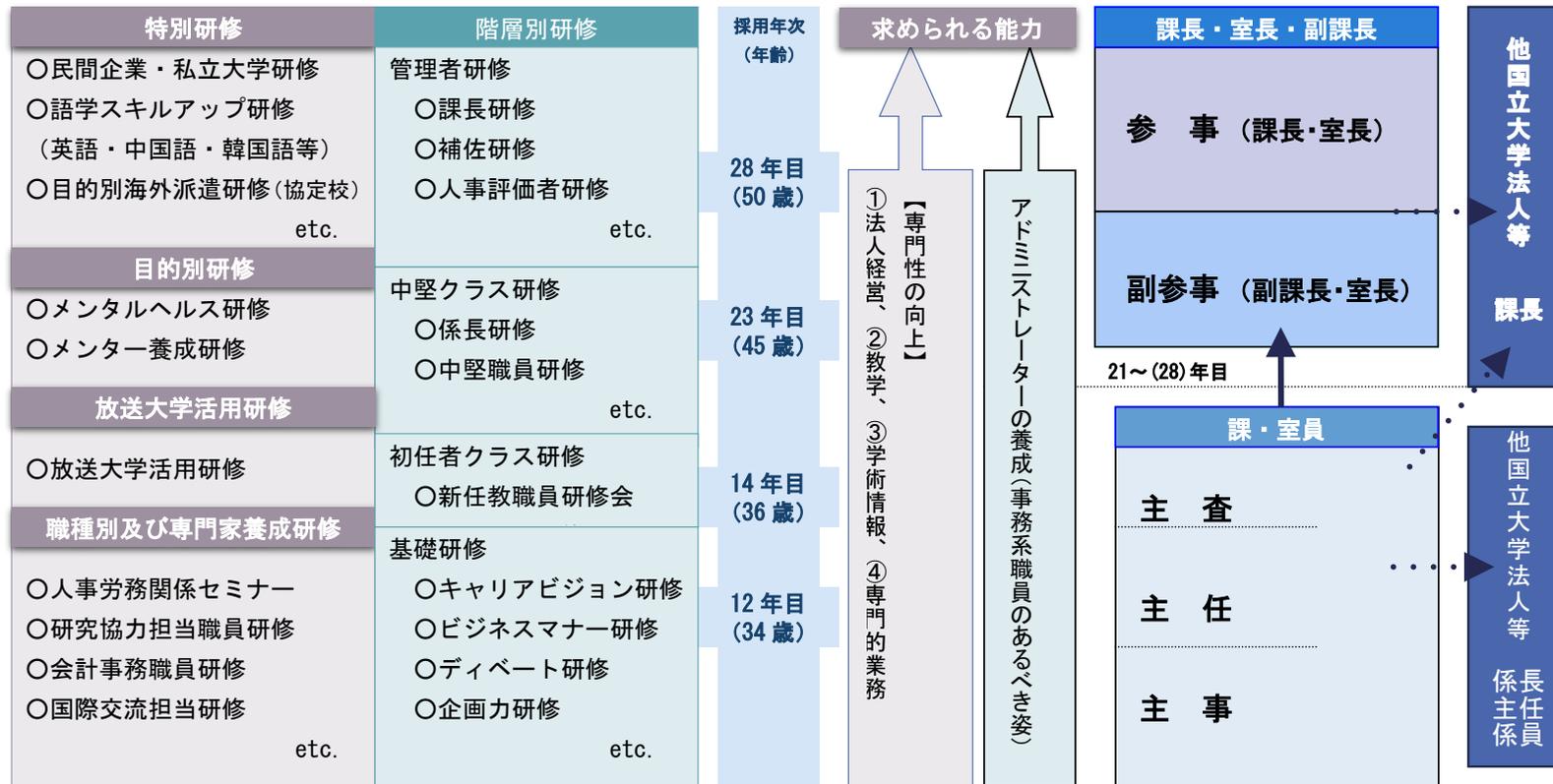
失敗を恐れず何事にも挑戦しよう！

時間の使い方を工夫しよう！

常に学ぶ姿勢を持とう！

ありがとう、感謝の気持ちを伝えよう！

福島大学事務職員のキャリアパス例



※この表は、あくまでも一例であり、本人の勤務成績や希望により変わります。

勤務条件・福利厚生



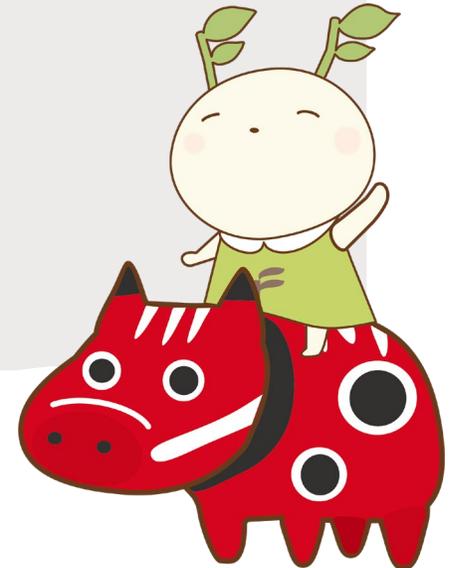
勤務時間等

- 勤務時間：8時30分～17時15分
所定労働時間 7時間45分（休憩60分）
- 休日：土曜日、日曜日、祝日、年末年始
※時間外労働や休日出勤を命ずる場合があります。
- 有給休暇
年次有給休暇、病気休暇、特別休暇（リフレッシュ休暇、結婚休暇、産前・産後休暇、育児休暇、介護休暇、社会貢献休暇等）
- その他
育児休業、育児短時間勤務、育児時間、介護休業、介護時間



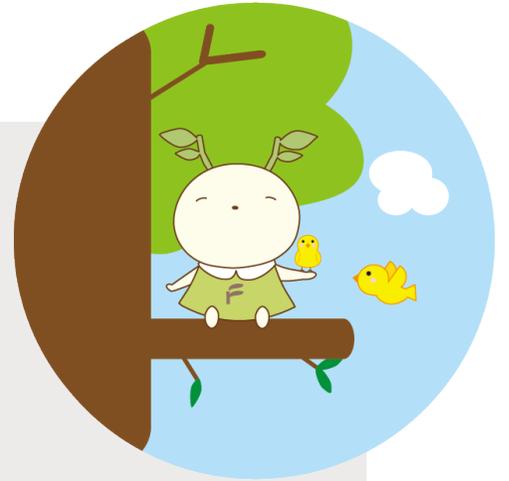
給与・手当等

- 初任給：約 22 万円～約 24 万円程度
(学歴、職務経験等に基づき決定)
- 昇給：年 1 回 (前年の勤務成績に応じて)
- 賞与：期末・勤勉手当 (6月、12月)
- 手当：超過勤務手当、通勤手当、住居手当、扶養手当 等



福利厚生

- 社会保険等
文部科学省共済組合、雇用保険、労災保険に加入
- 宿舎
福島市内 3 カ所
(有料。希望者が多い場合は入居できないことがあります。)



ワンキャンパスのコンパクト総合大学

教職員同士の顔が見える
コミュニケーションが取りやすい
職場です。

あなたも
福島大学で輝いてみませんか！

